

2021年12月15日

報道関係各位

公立大学法人北九州市立大学

## ＪＳＴ（科学技術振興機構）「次世代研究者挑戦的研究プログラム」 B日程における新規プロジェクトの決定について

この度、北九州市立大学が、ＪＳＴ（科学技術振興機構）の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の新規プロジェクトに下記のとおり選定されましたので、お知らせします。

本事業は、選抜した博士後期課程の学生に対し「生活費相当額」及び「研究費」の支給や「キャリア開発・育成コンテンツ」の提供などの支援を行います。

### 記

- 1 事業名（本学） 「地域で育て地域を興す博士後期プログラム」
- 2 事業目的 地域（下記連携機関等）と本学の協力により、不確実な社会を生き抜ける優秀で柔軟性のある博士人材を育て、それら修了生の活躍により地域経済や文化の発展に資する。
- 3 事業概要
  - (1) 事業期間 2021年12月から2026年3月末
  - (2) 対象者 本学博士後期課程 学生 計12名(予定)
  - (3) 予算総額 約9,500万円（見込み）
  - (4) プログラム 別紙1のとおり  
イメージ等
- 4 事業責任者 事業統括 国際環境工学部 教授 加藤 尊秋
- 5 連携機関 北九州市、公益財団法人北九州産業学術推進機構、公益財団法人北九州活性化協議会、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）北九州貿易情報センター、市内民間企業、非営利団体
- 6 参 考 J S T（科学技術振興機構）記者発表資料 別紙2のとおり

#### 問い合わせ先

北九州市立大学国際環境工学部 教授 加藤 尊秋

TEL 093-695-3237

北九州市立大学事務局学務課 課長 池田 達

TEL 093-695-3340

# 地域で育て地域を興す博士後期プログラム

事業統括：国際環境工学部 教授 加藤尊秋

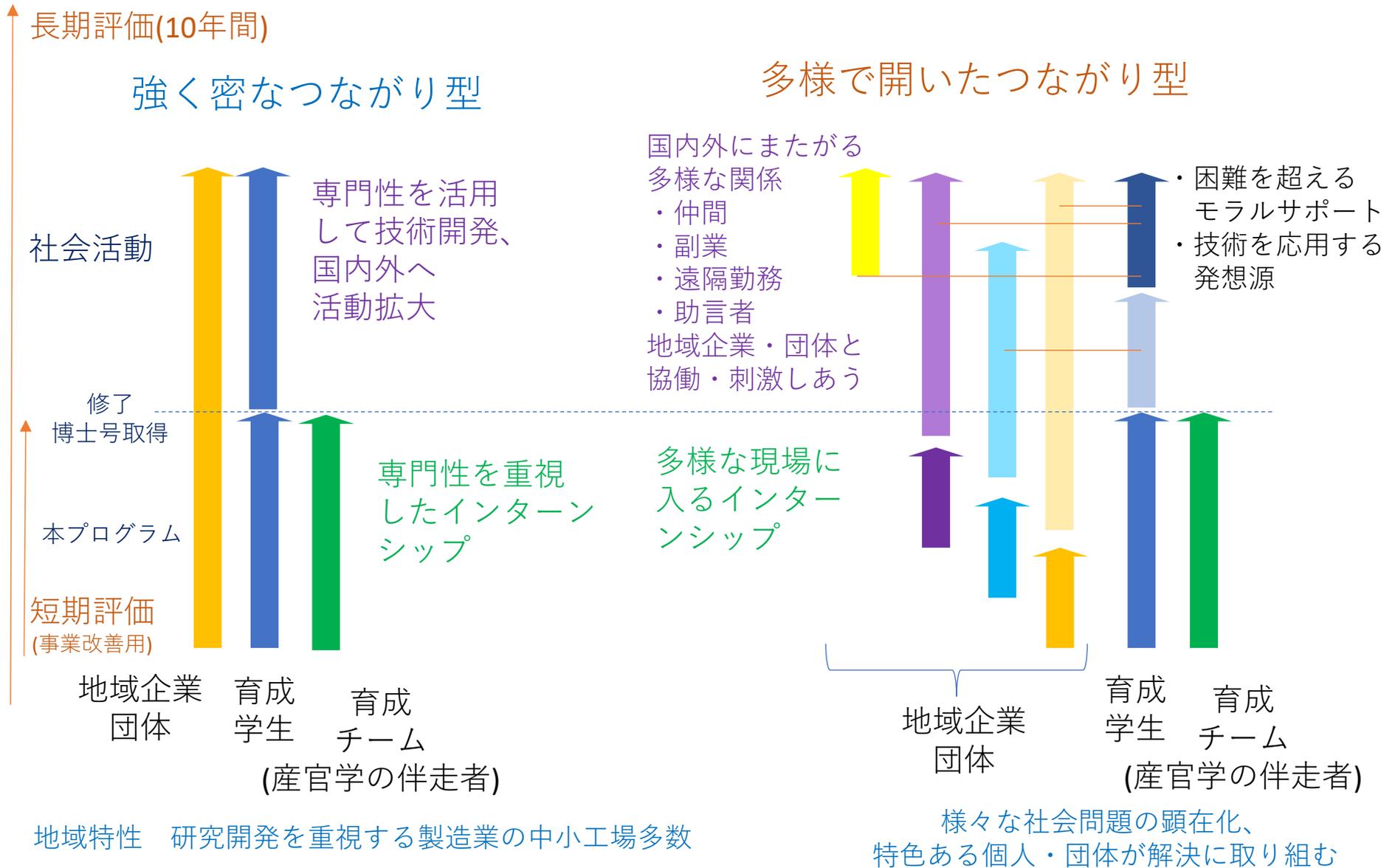
地域の企業、団体等と協働しつづけるために  
博士人材の持つ能力を地域とともに強化

博士人材が持つ能力	本プログラムでさらに強化する能力
研究面での世界水準の専門性	専門性を <b>挑戦的な社会活動</b> に活用
同分野・隣接分野での研究の説明能力	研究内容の <b>他分野・一般への説明能力</b> (リスク評価とコミュニケーションを含む)
国際的な研究の場での活動能力	<b>国際的なチームや国外のフィールドで活動</b> できる能力
自立して研究を進める能力	職場の <b>課題を見つけ、改善の方向性を示して実施</b> できる能力
研究上の課題に柔軟に取り組む能力	自分を変えられる <b>柔軟性と打たれ強さ</b>

同時に、学生は、不確実な社会を生き抜くための力と資源を獲得

- ・ 専門分野に閉じこもらずに社会の中に複数の足場を持つ
- ・ 発想の源、困難に打ち勝つための資源獲得

# 中核的活動：3年間の地域インターンシップ

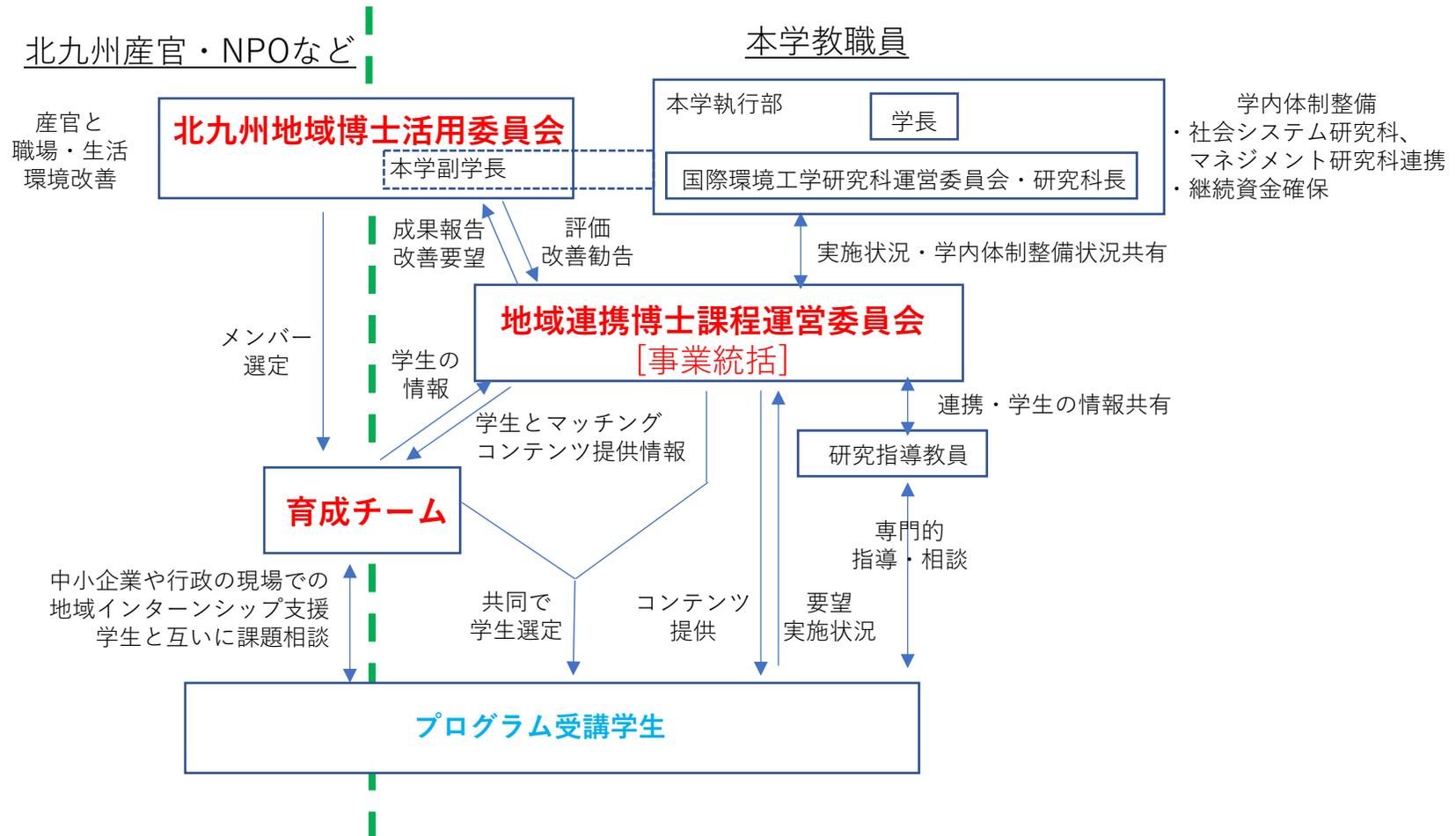


# おもなキャリア開発・育成コンテンツ

項目	自分の専門分野	隣接分野	遠い分野
キャリア開発・育成コンテンツ	[必修]指導教員の密接指導 [所定数履修]専門科目講義 [必修]研究倫理指導 [選択]市内企業との研究インターンシップ	[選択]「環境原論特論」「健康リスク学特論」等の分野融合型講義 [選択]データサイエンス系研究室との共同ゼミ [選択]他大学や本学外国人行政官学生を含む研究室共同ゼミ) [選択]研究室間短期留学 [選択必修]隣接分野の海外留学 [選択]留学生日本語教育	[選択]URAによる知財講座 [必修]人文・社会科学系教員、外国人行政官学生等を交えた短期「異分野合宿」 [選択]本学ビジネススクールとの共同学習 [選択]アントレプレナーシップ教育
		[必修]3年間の地域インターンシップ [選択必修]OECD4都市連合での国際共同研究 [選択必修]アジア各国でのフィールド活用共同研究	
プログラム実施で向上が期待される能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界で通用する専門性</li> <li>国際的な活動能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門分野応用力</li> <li>説明能力 (リスクコミュニケーション含む)</li> <li>国際的な活動能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明能力</li> <li>現場の問題把握・解決能力</li> <li>国際的な活動能力</li> <li>柔軟性と打たれ強さ</li> </ul>

赤字：あらたに実施、黒字：本学の既存活動を活用・展開

# 北九州の産官学による運営組織





令和3年12月1日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」B日程における 新規プロジェクトの決定について

※名古屋大学／岐阜大学の今年度支援予定人数修正について表記を修正しました  
(令和3年12月2日)

JST（理事長 濱口 道成）は、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」B日程における新規プロジェクト19件を決定しました（別紙1）。

本事業は、博士後期課程の学生が研究に専念できる環境を整備し、卓越した博士人材の育成や輩出を目指す事業です。博士後期課程の学生は、日本の科学技術・イノベーションの将来を担う存在ですが、近年、「博士課程に進学すると生活の経済的な見通しが立たない」「博士課程修了後の就職が心配だ」といった理由から、修士課程から博士後期課程への進学者数や進学率が減少傾向にあり、危機的な状況が指摘されています。そうした状況を踏まえ、本事業では、既存の枠組みを越えて優秀な博士後期課程の学生の選抜などを行う事業統括を選定し、当該事業統括により選抜された学生に対する生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツの提供をはじめとする多様な支援を行います（参考1）。

本年度2回目となるB日程の募集は9月30日（木）に締め切り、23件の応募がありました。募集締め切り後、外部専門家で構成された委員会による審査を実施し（別紙2）、その結果を基に19件の支援プロジェクトを決定しました。

また、A日程で採択した名古屋大学／岐阜大学について、9月7日のプレスリリース（科学技術振興機構報 第1519号）における今年度支援人数の記載に誤りがございましたので修正いたします（誤320名→正305名）（参考2）。

詳細については、下記ホームページをご覧ください。

ホームページURL：<https://www.jst.go.jp/jisedai/index.html>

### <添付資料>

別紙1：「次世代研究者挑戦的研究プログラム」B日程採択プロジェクト・事業統括一覧

別紙 2 : 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」委員会 委員一覧

参考 1 : 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」募集概要

参考 2 : 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」A日程採択プロジェクト・事業統括一覧

### <お問い合わせ先>

科学技術振興機構 科学技術イノベーション人材育成部

次世代研究者挑戦的研究プログラム推進室

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

中村 幹 (ナカムラ ツヨシ)

E-mail : jisedai-application[at]jst.go.jp

※お問い合わせは電子メールでお願いします。

## 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」B日程採択プロジェクト・事業統括一覧

(今年度支援予定人数順)

大学名	事業統括	プロジェクト名	今年度支援予定人数
神戸大学	大村 直人	異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト	151
富山大学	細谷 健一	富山大学「人」と「地」の健康を科学する博士後期課程学生支援プロジェクト	40
信州大学	森川 英明	次世代高度人材「地域発志士」育成プログラム	25
関西大学	山本 秀樹	豊富な産学連携・地域連携と連動させた「考動力」人材育成プロジェクト	20
東京都立大学	清水 敏久	多視座を涵養する「双対型」人材育成プロジェクト	20
九州工業大学	三谷 康範	地球規模課題解決に向けたグローバルエンジニア型博士人材育成プロジェクト	15
東京理科大学	兵庫 明	イノベティブ博士人材育成プロジェクト ～壁を越えて「価値」「アイデア」を創造～	15
群馬大学	花泉 修	グンマ創発的博士人材インダクションプログラム	14
室蘭工業大学	董 冕雄	次世代イノベーションを駆動する異分野融合博士人材育成支援プロジェクト	14
島根大学	齋藤 文紀	持続可能な社会構築に向けた島根大学高度人材育成プロジェクト	12
創価大学	神立 孝一	In silico, in vitro, in vivo 融合型研究者育成プログラム	9
弘前大学	若林 孝一	異分野融合による「自由な発想で深く考えイノベーション創出できる」次世代研究者育成	8
東洋大学	北脇 秀敏	人間の安全保障分野における研究成果の社会実装支援プロジェクト	7
中部大学	宮浦 千里	地球規模の社会課題へ創発的分野融合で挑戦し、地域から新産業創出に貢献する博士人材の養成	6

京都産業大学	加藤 啓子	トランスファラブルスキルを身に付けた科学技術を牽引するリーダーの育成	5
東京海洋大学	井関 俊夫	創発的海洋研究・産業人材育成支援プロジェクト	5
北九州市立大学	加藤 尊秋	地域で育て地域を興す博士後期プログラム	4
岐阜薬科大学	檜井 栄一	薬学系融合研究を推進する将来のリーダー人材の育成	3
高知工科大学	新田 紀子	革新的未来を実現する次世代研究者育成プログラム	3
合計			376

## 「次世代研究者挑戦の研究プログラム」委員会 委員一覧

役割	氏名	所属・役職
委員長	安浦 寛人	九州大学 名誉教授
委員	伊藤 耕三	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授
委員	勝 悦子	明治大学 政治経済学部 教授
委員	神成 文彦	慶應義塾大学 理工学部 教授
委員	工藤 貴子	群馬大学 大学院理工学府 教授
委員	小石 龍太	第一三共RDノバーレ株式会社 トランスレーショナル研究部 主席
委員	小泉 周	自然科学研究機構 特任教授
委員	城山 英明	東京大学 大学院法学政治学研究科 教授
委員	杉山 直	名古屋大学 副総長
委員	仲 真紀子	立命館大学 O I C総合研究機構 特別招聘研究教員（教授）
委員	長谷山 美紀	北海道大学 副学長／大学院情報科学研究院 研究院長

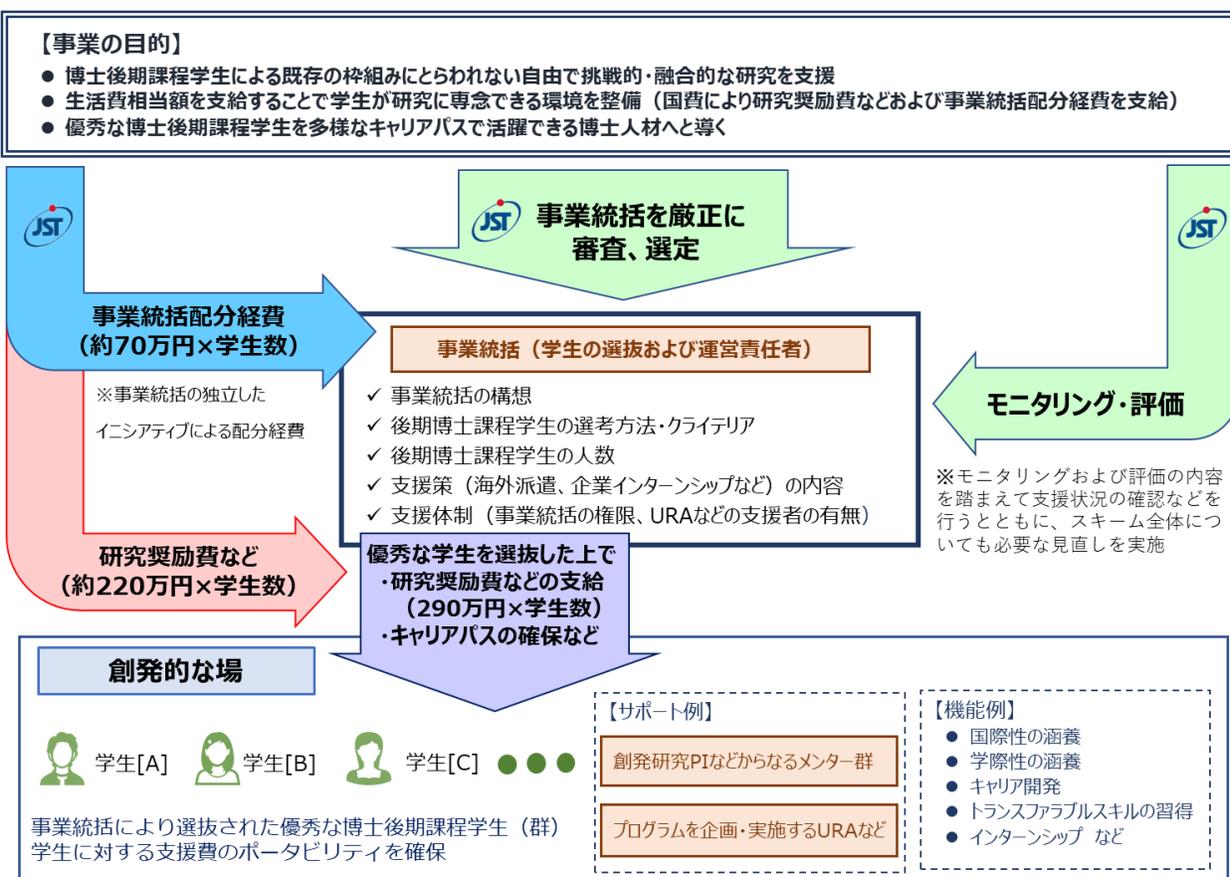
## 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」募集概要

### 1. 事業の趣旨

博士後期課程の学生は、日本の科学技術・イノベーションの将来を担う存在ですが、近年、「博士課程に進学すると生活の経済的な見通しが立たない」「博士課程修了後の就職が心配だ」といった理由から、修士課程から博士後期課程への進学者数や進学率に減少傾向が見られ、危機的な状況が指摘されています。優秀な志ある博士後期課程の学生への経済的な支援を抜本的に強化し、博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスを整備するなど、日本の博士課程教育システムの改革が強く求められています。

本事業では、このような状況を打破するため、新たに、既存の枠組みを越えて選抜された優秀な博士後期課程の学生に対して生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツなどの支援を提供します。

### 次世代研究者挑戦的研究プログラム



## 2. 事業の概要

博士後期課程の学生への支援構想である「博士後期課程学生支援プロジェクト」を提案し、その提案を各大学で責任者として実施する事業統括を募集します。

当該事業統括により選抜された優秀な博士後期課程の学生には、所属元の変更などのポータビリティを担保した上で自身の自由で挑戦的・融合的な研究に専念できる環境を提供します。併せて当該学生に対しては、生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツ（国際性や学際性の養成、トランスファラブルスキルの習得<sup>注</sup>）、インターンシップなど）をはじめとするさまざまな支援が提供されます。

なお、これらの取り組みを円滑に実施するため、事業統括は、自身の業務遂行を支える運営チームを編成することとします。

### 注) トランスファラブルスキル

社会人に求められる能力のうち、特に転用・応用可能で、分野や業態を問わず活用するために必要となる汎用性の高いものを指す。

## 3. 事業の特徴

本事業は、修士課程から博士後期課程への進学者数・進学率の減少の背景として指摘される、経済面やキャリアパスの不安などを解消するため、生活費相当額および研究費支給やキャリア開発・育成支援などを行うのが特徴です。

本事業を通じ、①優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を抜本的に強化し、②博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスを整備し、③それらに資する日本の博士課程教育システム改革の推進を目指します。

## 4. 実施経費・実施期間

### (1) 実施経費

博士後期課程学生 1 人当たりの支給額は 290 万円程度／年  
(生活費相当額＋研究費)

※学生 1 人あたり下限を 220 万円とし、事業統括の裁量により変動

### (2) 実施期間

最大 5 年度（4 年制の場合は最大 6 年度）

### (3) 募集期間

A 日程

令和 3 年 6 月 11 日（金）から 7 月 15 日（木）正午

B 日程

令和 3 年 6 月 11 日（金）から 9 月 30 日（木）正午

「次世代研究者挑戦的研究プログラム」 A日程採択プロジェクト・事業統括一覧

(今年度支援予定人数順)

大学名	事業統括	プロジェクト名	今年度支援予定人数
東京大学	大越 慎一	グリーントランスフォーメーション (GX) を先導する高度人材育成	600
京都大学	江上 雅彦	京都大学大学院教育支援機構プログラム	515
東北大学	山口 昌弘	東北大学高等大学院博士後期課程学生挑戦的研究支援プロジェクト	511
北海道大学	石森 浩一郎	Society 5.0を牽引するDX博士人材育成のための研究支援プロジェクト	467
大阪大学	森井 英一	学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト	405
筑波大学	加藤 光保	学問分野の壁を超えて多様な人材と共創できるトランスボーダー型価値創造人材育成プロジェクト	351
九州大学	君塚 信夫	未来を拓く博士人材育成のためのオープンプラットフォーム型教育システムの構築	349
名古屋大学／ 岐阜大学	藤巻 朗／ 植松 美彦	東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業	320→305
慶應義塾大学	武林 亨	未来社会のグランドデザインを描く博士人材の育成	263
広島大学	安倍 学	広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム	199
東京工業大学	神田 学	殻を破るぞ！越境型理工系博士人材育成—総合知の創造と社会変革に貢献する—	187
早稲田大学	笠原 博徳	早稲田オープン・イノベーション・エコシステム挑戦的研究プログラム	180
千葉大学	中山 俊憲	全方位イノベーション創発博士人材養成プロジェクト	150
金沢大学	中村 慎一	突破力をもって分野の壁を破壊し、新たな価値を創造する次世代精鋭人材創発プロジェクト	120

東京医科歯科大学	磯村 宜和	TMDU卓越大学院生の挑戦的研究支援プロジェクト	120
東京農工大学	五味 高志	FLOuRISHフェローシップ事業	120
大阪市立大学 ／大阪府立大学	重松 孝昌／ 河北 哲郎	リゾーム型研究人材育成プログラム	70
熊本大学	高島 和希	Well-Being 社会を先導する異分野横断型博士人材育成プログラム	60
新潟大学	本田 明治	未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト	50
立命館大学	徳田 昭雄	立命館先進研究アカデミー（RAR A: Ritsumeikan Advanced Research Academy）次世代研究者育成プログラム	45
山口大学	堤 宏守	“シン・文殊グループ”を核とする異分野融合研究実践型博士後期課程学生育成プロジェクト	36
岡山大学	那須 保友	岡山大学次世代研究者挑戦的研究事業（OU フェローシップ タイプ B）	30
同志社大学	塚越 一彦	同志社大学大学院博士後期課程次世代研究者挑戦的研究プロジェクト	30
北陸先端科学技術大学院大学	山口 政之	未来創造イノベーション研究者支援プログラム	30
電気通信大学	米田 仁紀	独自ネットワーク形成を行う、開発主導型博士学生研究・教育支援プログラム	24
徳島大学	安友 康二	研究クラスターを核とした学際的イノベーション人材の育成 - 徳島大学うずしおプロジェクト-	24
名古屋市立大学	澤本 和延	グローバル未来都市共創に資する次世代研究者エンパワメントプログラム	20
京都工芸繊維大学	吉本 昌広	京都産学共創 異分野融合人材育成フェローシッププログラム	18

東京薬科大学	林 良雄	未来医療創造人育成プロジェクト 『BUTTOBEぶっとべ』～Bee f Up Toyaku Talents to go BEyond the border	18
三重大学	金子 聡	環境循環型社会に資する地域と連携 した若手研究者育成支援	16
青山学院大学	黄 晋二	AGUフューチャーイーグルプロジ ェクト (AGU Future Eag le Project)	15
東京農業大学	志和地 弘信	グローバルで食料生産向上に挑戦す る高度人材養成包括的プロジェクト	15
奈良女子大学	遊佐 陽一	奈良女子大学博士後期課程学生支援 SGC+ (Shattering t he glass ceiling a nd beyond) プロジェクト	14
名古屋工業大 学	井門 康司	複数指導教員体制による新しい研究 分野を開拓する次世代研究者育成プ ロジェクト	12
山梨大学	西田 継	VUCA時代対応型博士人材育成プ ロジェクト	11
総合研究大学 院大学	青野 重利	「SOKENDAI 特別研究員 (挑 戦型)」制度による次世代研究者の支 援・育成の推進	10
東京都市大学	田口 亮	アジア大洋州地域の発展をリードす る次世代のグローバル研究者育成プ ログラム	10
宮崎大学	水光 正仁	宮崎大学の異分野融合性の高さを活 用した次世代研究者支援プロジェクト	10
甲南大学	村嶋 貴之	地域連携プラットフォームを活用す る産学・官学連携インターンシップに よるトランスレーショナル人材の育 成	5
奈良先端科学 技術大学院大 学	飯田 元	「先端科学技術融合分野におけるイ ノベティブ博士人材支援プロジェ クト (NAIST Touch St one)」	5
合計			5, 450→5, 435